

養護老人ホーム

『成章園』完成



二十二年間

「くろくま」

軽井沢にある市立養護老人ホームは、老朽化に伴い昨年八月末から移転改築工事が進められていましたが、この工事が先月いっばいで終了し、移転先の秋田労災病院隣接地に新ホームが完成しました。
公募により「成章園」と名付けられた新ホームは、温泉浴場が設置されたり広い運動室が設けられたりと、これまで以上に快適な生活空間が整えられています。

移転改築する前の老人ホームは、昭和四十二年三月に建設されました。二百二十五坪、収容人員五十人、当時では設備の整った立派なものでした。その後居室の増築などをして、入居者の数も現在の八十人になりましたが、長い年月の経過とともに建物の老朽化は進み、厚生省の基準改正(大部屋解消等)などもあり、六十二年から二カ年事業で改築工事が行われました。



新老人ホーム「成章園」は、

これまでの場所から移転されましたが、これはこれまでの敷地の裏側がガケになっていたので危険性があったこと、また入居者のプライベートを尊重して大部屋をなくす(四人部屋を一人部屋、二人部屋にする)ことなどで、より広い敷地面積が必要になったためです。

これまで二十二年間お年し寄りの生活を守ってきた旧ホームですが、今月中旬には取り壊されることになっています。

明るくひろびろ

新ホーム

「成章園」の玄関をくぐりホールに立つと、白い三角屋根の明かり取りから、たくさんの陽光が降りそそいでいます。そこから真っすぐに伸びる木づくりの廊下を見ると「あじさい通り」「あさがお通り」「ひまわり通り」と書かれた木の名札が、各棟ごとかけてられています。



集会室兼運動室

温泉が引かれた浴場は大、中二つに分けられ、どちらも手すり、スロープがあつて安全です。また、集会室(運動室兼用)にはステージが設けられ、いろいろな利用ができそうです。入所者の居室は一人用(四・五畳)が十室、二人用(六畳)が三十五室の計四十五室。ここにも杉材など「木」がふんだんに使われ、暖かみのあるつくりになっています。光と木のぬくもり、優しさがいっばいの「成章園」です。

「成章園」です。

二居室は デイサービス用

四十五室のほかに、二室(四人分)はデイサービス用に確保され、入浴サービスに利用されるほか、家庭で一時的に介護が困難になったとき、お年寄りを保護します。



「花壇と一緒に」

関谷 貞治郎さん

「もう引っ越しの準備はしています。新しい方へ移るっていうのはやっぱり気分が違いますね。今のホームの花壇に植わっている木なんかは私もよく手入れして育てたものですから、ホームとともにこの木たちも無くなるのかと心配していたんです。でも新しいホームへ木も一緒に引っ越しさせてくれるそうなので、また張り切って手入れしますよ。」

(六月二十一日取材)

